

保健統計学	3年・後期	2単位 30時間	教授 豊田修一
科目カテゴリー	看護の対象の理解	科目ナンバリング	32310433

1. 授業のねらい・概要

学生が、看護師・保健師活動（根拠に基づいた看護の実践，保健活動の評価，健康現象の説明等）における多種多様な数的データの基本的統計処理（変数間の関係の数的表現，部分から全体の推測など）を知り，理論的で客観的な情報の判断・活用能力を身につけることを目的とする。

2. 学修の到達目標

1. データの尺度について3項目以上，説明できる。(D-5)
2. 基本的なグラフについて4種類以上説明できる。(D-5)
3. データの中心を表す基本的用語を5以上述べることができ，簡単な計算ができる。(D-5)
4. データのバラツキを表す基本用語を7以上述べることができ，簡単な計算ができる。(D-5)
5. 確率分布の基本的用語を6個以上述べるができる。(D-5)
6. 区間推定の基本的用語を6個以上述べることができ，簡単な区間推定ができる。(D-5)
7. 仮説検定の基本的用語を12個以上述べるができる。(D-5)

3. 授業の進め方

講義中心の授業であるが，学生の主体的な取り組みを期待する。

【アクティブラーニング】

アクティブ・ラーニングとして，課題提出を行う。

【ICTの活用】

Excelを利用した課題の提出をオンラインで行う。

4. 授業計画（講義）

回	授業内容	授業形態	事前事後学修（学修課題）	担当
1	データの整理	講義	予習：教科書の「データの整理」を読む 復習：尺度について整理しておく	豊田修一
2	データの中心	講義	予習：教科書の「データの中心」を読む 復習：平均値，中央値について整理しておく	豊田
3	データのばらつき	講義	予習：教科書の「データのばらつき」を読む 復習：分散，四分位数について整理しておく	豊田
4	確率の基礎	講義	予習：教科書の「確率の基礎」を読む 復習：場合の数，組合せについて整理しておく	豊田
5	正規分布	講義	予習：教科書の「正規分布」を読む 復習：標準正規分布，95.4%について整理しておく	豊田
6	いろいろな分布	講義	予習：教科書の「その他の確率分布」を読む	豊田

			復習：2項分布，t分布について整理しておく	
7	標本調査	講義	予習：教科書の「標本調査」を読む 復習：悉皆調査，層化抽出について整理しておく	豊田
8	標本平均	講義	予習：教科書の「標本平均」を読む 復習：大数の法則，中心極限定理について整理しておく	豊田
9	区間推定	講義	予習：教科書の「区間推定」を読む 復習：区間推定，信頼区間について整理しておく	豊田
10	仮説検定の基礎	講義	予習：教科書の「仮説検定」を読む 復習：帰無仮説，仮説検定について整理しておく	豊田
11	データの視覚化	講義	予習：教科書の「グラフ表現」を読む 復習：箱ひげ図，散布図について整理しておく	豊田
12	データの整理・分析	講義	予習：教科書の6.1，7.1～7.6を読む 復習：統計の長所・短所をまとめる	豊田
13	1変数の検定	講義	予習：教科書の「1変数の検定」を読む 復習：平均値の検定について整理しておく	豊田
14	2変数の分析	講義	予習：教科書の13.1～13.3を読む 復習：NDBとKDBについて，まとめる	豊田
15	まとめ	講義	予習：これまでの講義を振りかえる 復習：セキュリティを振り返る	豊田

5. 成績評価の方法・基準

定期テスト（受験資格3分の2以上出席）90%，課題提出10%で総合的に評価する。

データの尺度について3項目以上，説明できる。（5%）

基本的なグラフについて4種類以上説明できる。（5%）

データの中心を表す基本的用語を5個以上述べることができ，簡単な計算ができる。（10%）

データのバラツキを表す基本的用語を7個以上述べることができ，簡単な計算ができる。（15%）

確率分布の基本的用語を6個以上述べるができる。（15%）

区間推定の基本的用語を6個以上述べることができ，簡単な区間推定ができる。（20%）

仮説検定の基本的用語を12個以上述べるができる。（20%）

課題は日程厳守で提出されている。（10%）

なお，キーワード一覧は，講義時に配布する。

成績評価は，「2. 学修の到達目標」に示した達成状況を，ルーブリック評価表を基に採点する。尚，ルーブリック評価表に関する詳細は，第1回講義内で別途説明する。

6. テキスト・参考文献

テキスト：豊田，星山，宮崎「看護師・保健師をめざす人のやさしい統計処理 改訂版」実教出版
978-4407-364743

参考文献：浅井隆一「医学統計の基礎のキソ1」アトムス 978-4-90430724-3
その他適宜紹介する。

7. 準備学習に必要な時間，又はそれに準じる程度の具体的な内容

シラバスの授業計画の範囲を中心に，最低90分の事前事後学修（学修課題）を行なうこと。

8. 受講上の留意事項

主体的，意欲的な授業への参加が重要である。遅刻，欠席および授業中の私語，授業中に授業に関連する作業以外の行動は慎むこと。欠席の場合は，次回の講義までに欠席届を提出すること。

9. 課題に対するフィードバックの方法

課題等は原則として講義中に説明を行う。試験は終了後口頭にて解説を行う。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目であり，修得できない場合進級不可となる。

11. 該当する本授業は，以下の実務経験を活かして実施される

企業におけるデータ分析の実務経験を活かして，講義を行う。